県小学生プログラミング大会
須崎君（富岡小3年）グランプリ

TOKUSHIMA SHOGAKUSEI PROGRAMMING CONTEST

小学生によるプログラミング作品コンクール「徳島県小学生プログラミング大会」（徳島新聞社主催）の入賞作品が決まった。グランプリは、須崎有哉君（9）＝富岡小3年＝の作品「未来の学校　ゆっぴースクール」が受賞した。

須崎有哉君

「もっと好きになる　わたしたちのまち」をテーマに、さまざまなソフトで作ったゲームやアニメーションなど22件が寄せられた。徳島大、鳴門教育大、徳島文理大、四国大の教員ら7人が審査した。

須崎君の作品は、ブロックを組み合わせて造形物を作るソフト「マインクラフト」で環境に配慮した学校を表現。太陽光発電やリサイクル施設、農場などを併設し、阿波踊りや藍染といった地域文化も組み込んだ。「多様な視点を取り入れ、表現力と技術力が高い」と評価された。

コンクールは、プログラミング教育の普及と推進を目的に初めて実施。須崎君は、21日にオンラインで開かれる「全国選抜小学生プログラミング大会」（全国新聞社事業協議会主催）に県代表として出場する。（橋本真味）

他の受賞者は次の皆さん。

【準グランプリ】石川央祐（論田2年）松本奏音（かのん）（城東4年）【奨励賞】阿部葵（佐古5年）竹内想人（南井上5年）吉村愛和（あいな）（加茂名南2年）稲木由奈（鳴門教育大付属2年）星元蔵乃介（千松4年）豆成（まめなり）柚紀、柑菜（南井上6年、同4年）

◇

19日付特集面に詳報を掲載します。

(C)徳島新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。